

清流

題字：芳野 充

令和4年6月30日

第66号

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに

静かに

清流のように

能力を正しく生かす

ニュースをみてみると、「ドバイ逃亡の主犯格の男に逮捕状 東京国税局職員ら持続化給付金詐欺事件」との速報がながれてきました。若い東京国税局職員らをふくむ7人が、新型コロナウイルス対策の持続化給付金として、およそ2億円をだましとった疑いで逮捕される、とのことでした。

勝手ながら想像をしてみました。親が一生懸命働いて、良いところに就職できるよう塾に通わせ良い大学にも入らせ、本人も本気で勉強した結果、安定した国家公務員という職につけたのではないだろうか、と。

しかし、計算がはやくできたり、記憶力が高かったり、テストの点はとれるかもしれないが、その能力を正しく生かすことができないと、人や社会に迷惑をかけ人生は良くないほうへかたむいてしまう。それは不祥事をおこす政治家にも同じことが言えそうです。

わたしは「能力」というものは道具の一種だと思っています。たとえば、生活に欠かせない自動車。馬力のあるかっこいいスーパーカーに乗ったとしても、運転する人が交通ルールを守らず自分の好き勝手にスピードを出して運転すると、そのスーパーカーはたちまち危険な凶器へと変わり、巻きこみ事故を起こしたり、人の命をうばったりもします。逆に、交通ルールを守り、思いやりある運転をするのなら、スーパーカーは威風堂々と街を走るステキな車にうつるはずです。

これはスーパーカーであるうと一般の自動車であるうと変わりはありません。その自動車の性能を正しく生かそうとすれば、運転者の徳性が大きく左右してきます。

徳性とは「思いやり」のことですが、素心学塾塾長の池田繁美先生は著書『素心学要論』でこう述べています。「いくらすぐれた知識や技術を著もっていたとしても、それらを正しく生かす『人間の徳性』が働かなければ、役に立たないどころか、悪用、乱用となり、他人に迷惑をかけたなり、罪を犯したりして、その人格をおとしめることになってしまふ」。

誤解しないでいただきたいのは、わたしの能力や徳性が高い、と言っている訳では決してありません。逆にまだまだ知識や経験、徳性が低いために家族やスタッフ、お客様に不快な思いを与える場面が多々あり、反省の日々です。しかし、自分に与えられている能力を正しく生かすためには、徳性という思いやりを身につけることが重要だと感じています。そうすることで、本来もっている能力を正しく生かし、まわりの人や地域社会にも必要とされる人になるのではないのでしょうか。

加来 寛

